

1 殿堂入り受賞者

**○岡島 秀樹（おかじま ひでき）氏**

1975（昭和50）年12月25日生 44歳

京都市伏見区出身。京都市立美豆小学校，大淀中学校，東山高校卒業。

東山高校時代，甲子園選抜大会に2回出場。日本プロ野球では，巨人，日本ハム，ソフトバンク，横浜 DeNA，メジャーリーグでは，ボストン・レッドソックス，オークランド・アスレチックスで活躍。2007年 MLB ワールドシリーズ優勝に貢献したほか，セリーグ優勝3回（うち日本一2回），パリーグ優勝2回（うち日本一2回）に貢献。

日本プロ野球在籍15年間で549試合に登板し，38勝40敗50セーブ74ホールドの成績を収め，メジャーリーグ在籍6年間（2007-2011 ボストン，2013 オークランド）では266試合に登板し，17勝8敗6セーブ84ホールドの成績を収めている。

2016年7月に現役を引退。現在は，メジャーリーグ，日本プロ野球を中心とした野球解説者，講演活動や野球教室で講師を務める。

○小田 美岐（おだ みき）氏

1959（昭和34）年4月5日生 60歳

京都市南区出身。京都市立南大内小学校，八条中学校，平安女学院高校から同志社大学へ。

12歳から実家の練習場でゴルフを始め，高校，大学時代アマチュア通算38勝。

1982年プロ入り。1983年に日本プロスポーツ新人賞を獲得。

所属は，宝酒造を経て，現在はニッタ・ハース。

1984年の美津濃ゴルフトーナメント，北陸クイーンズゴルフカップ，1988年の三菱電機ファンタスレディスゴルフ，東北クイーンズ，伊藤園レディスゴルフトーナメント，1991年の伊藤園レディスゴルフトーナメントで優勝。

2006年に現役を引退。

現在は，主に女子プロゴルフの解説やゴルフの普及活動など多方面で活躍している。

○北村 友里（きたむら ゆり）氏

1978（昭和53）年9月14日生 41歳

京都市北区出身。京都市立柏野小学校，衣笠中学校，紫野高校，大阪保健福祉専門学校中退。

3歳から京都踏水会で水泳を始め，中学校，高校は水泳部だった。

高校2年生の時に脳腫瘍が見つかり，手術後に放射線治療を行う。卒業後は専門学校で障害者スポーツの指導者を目指す，入学してすぐに下半身の自由が利かなくなり，放射線治療の後遺症からの脊髄損傷と診断され，19歳で下半身麻痺（車いす生活）となった。

2001年に日本身体障がい者水泳連盟の強化指定選手になり，初めての国際大会2002年世界選手権に出場し6位，2004年アテネパラリンピック女子100m平泳ぎSB5クラスでは6位入賞，同年京都市スポーツ栄誉賞，厚生労働大臣表彰を受賞，2008年北京パラリンピック女子100m平泳ぎSB5クラス7位入賞の成果を国際舞台で残す。

現在は，京都大学の職員として勤務し，近畿身体障がい者水泳連盟の理事として大会運営にも携わるとともに，京都市内の小学校を中心に講演活動も行っている。また，マスターズの大会にも出場している。



2 特別功労表彰者

○今井 良春 (いまい よしはる) 氏

1933 (昭和8) 年2月22日生 86歳

大阪府出身。殿山第二国民学校，東山中学校，東山高校，龍谷大学文学部社会学科卒業。

1955年に東山高校教諭，東山高校卓球部部長兼監督に就任。

東山高校卓球部の監督として，インターハイ学校対抗にて7回，国民体育大会卓球競技少年男子にて5回，全国高等学校選抜卓球大会学校対抗にて2回，チームを優勝に導いている。45年間監督を務め，インターハイ45年連続出場の実績を持つ。現在は東山高校卓球部名誉監督。

○川勝 主一郎 (かわかつ しゅいちろう) 氏

1931 (昭和6) 年11月28日生 88歳

京都市上京区出身。上賀茂小学校，立命館中学校，立命館高校，立命館大学経済学部を卒業，滋賀大学学芸学部保健体育コースを修了。

1958～1997年に花園高校ラグビー部監督として，第44回全国高等学校ラグビーフットボール大会から通算20回京都府代表として出場し，準優勝3回，3位2回の成績を収めた。その後，花園大学ラグビー部の監督を務め，ラグビーワールドカップ2019で活躍したアマナキ・レレイ・マフィ選手をはじめ，多くの選手を指導。

2011年に旭日双光章を受章。

現在は，関西ラグビーフットボール協会名誉会長，京都府ラグビーフットボール協会会長を務める。

○田淵 和彦 (たぶち かずひこ) 氏

1936 (昭和11) 年10月15日生 83歳

神戸市出身。神戸市立神出小学校，同志社中学校・高校，同志社大学商学部を卒業。フランス国立スポーツ・体育研究所留学。

現在，同志社大学名誉教授であり，同志社大学フェンシング部名誉監督，日本学生フェンシング連合名誉会長，関西学生フェンシング連盟会長，京都フェンシング協会会長を務める。

1960年ローマ五輪出場，1964年東京五輪出場 (フルーレ団体4位)，ミュンヘン五輪ではコーチ，モントリオール五輪・ロサンゼルス五輪では監督を務めた。指導した選手の中には太田雄貴，池端花奈恵がいる。

1997年藍綬褒章，2019年瑞宝中綬章を受章。2019年 (公社) 日本フェンシング協会より，フェンシング殿堂入り表彰。

○森 貞男 (もり ただお) 氏

1931 (昭和6) 年11月19日生 88歳

京都市北区出身。京都市立有濟小学校，京都府立京都第二中学校，山城高校を卒業。1948年，山城高校でサッカー部創設に加わる。以後，京都学芸大学 (現：京都教育大学)，紫光クラブで活躍。山城高校サッカー部と共に50年を歩み，1960年熊本国体優勝，1962年全国高校サッカー選手権準優勝に導いた。その間，釜本邦茂氏ら名選手を輩出した。

1992年，山城高校校長を最後に退職。

2000年に京都新聞スポーツ賞を受賞。

元日本サッカー協会理事，元京都府サッカー協会会長。京都府体育協会理事などスポーツ界の要職を歴任。

3 京都スポーツの殿堂委員会委員

(敬称略, 五十音順)

氏名	役職等
阪田 忠司	前京都市小学校スポーツ連盟会長
田波 宏視	日本放送協会京都放送局局長
藤野 英雄 (委員長)	公益財団法人京都市スポーツ協会会長
細井 俊介	株式会社京都放送代表取締役社長
松永 敬子	龍谷大学経営学部スポーツサイエンスコース教授
水野 加余子	京都女性スポーツの会会長
森田 美千代	京都障害者スポーツ振興会副会長
山内 康敬	株式会社京都新聞社代表取締役社長
横山 勝彦 (委員長代理)	同志社大学スポーツ健康科学部教授
吉井 純子	京都商工会議所女性会副会長

4 参考 (これまでに殿堂入りされた方及び団体)

(1) 個人 (24名)

平成22年度 吉田義男氏 (野球)

衣笠祥雄氏 (野球)

朝原宣治氏 (陸上)

平成23年度 水野彌一氏 (アメリカンフットボール指導者)

釜本邦茂氏 (サッカー)

平成24年度 山口良治氏 (ラグビー指導者)

奥野史子氏 (シンクロナイズドスイミング)

平成25年度 藤田信之氏 (陸上指導者)

坂田好弘氏 (ラグビー)

平成26年度 桧山進次郎氏（野球）
早狩実紀氏（陸上）
大村加奈子氏（バレーボール）

平成27年度 佐野優子氏（バレーボール）
田本博子氏（ソフトボール）
作本信夫雄氏（バスケットボール指導者）

平成28年度 太田雄貴氏（フェンシング）
寒川進氏（障がい者陸上）
野口みずき氏（陸上）

平成29年度 伊達公子氏（テニス）
柱谷哲二氏（サッカー）
平尾誠二氏（ラグビー）

平成30年度 大畑大介氏（ラグビー）
波留敏夫氏（野球）
濱田美栄氏（フィギュアスケート指導者）

(2) 団体特別表彰（3団体）

平成22年度 財団法人京都市体育協会
京都市体育振興会連合会

平成23年度 皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝 歴代京都府代表チーム